

## 平成22年度総会議事録

開催場所	湖山西地区公民館 第一会議室					
開催日時	平成23年5月29日午後14時00分					
会員総数	24名					
出席会員数	17名	内訳	本人出席	7名	委任状提出	10名

### 1. 開会挨拶

スミス理事長により、本日は台風という悪天候の中、ご出席頂きまして誠に有難うございます。と開会の挨拶があった。

### 1. 議長選出

会員谷尾洋介氏が議長に選出され、定款の規定により総会定数を満たしたので会が成立した旨を告げ、議案の審議に入った。

### 平成22年度事業報告

#### 1. グリーンスポーツ鳥取の運営、行政関係

スミス理事長より以下の報告があった。

- ① グリーンフィールドの芝生の状態は例年どおり良い状態が保てている。
- ② スポーツクラブのEASEフットボールクラブ、湖山ラグビーフットボールクラブ、エレンシア湖山ホッケークラブの活動拠点としての役割を果たした。
- ③ 鳥取方式による芝生の維持管理に対する理解を県内外に深める成果があった。
- ④ 地元住民の少人数単位（各年齢層）でのグリーンフィールド利用が見えるようになった。また住民主導のイベント利用も平年どおりおこなわれた。
- ⑤ 「芝生」の利用方法や芝生に対する理解がさらに深まった。
- ⑥ 22年度は「鳥取方式」の商標登録を取得し10年間保証されるものである。このことにより、鳥取県の補助事業をはじめ、県外の行政とも事業を拡大することができた。
- ⑦ 来年度も日本サッカー協会実施の「グリーンプロジェクト」の技術指導を依頼されて、承諾した。
- ⑧ グリーンフィールドで実証された「鳥取方式による芝生化」は、全国規模での認識が深まり、県内外の行政との間で技術指導の契約を結び支援活動の範囲がさらに広まった。

#### 2. グリーンフィールドの整備及び校庭・空き地の芝生化支援活動

中野理事より以下の報告があった。

グリーンフィールド湖山でKRFC・EASEフットボールクラブ・エレンシア湖山ホッケークラブが例年どおり練習をおこなっているが、何も問題はない。大学よりの部分は水溜りが頻繁に起きて、芝生の状態が望ましくないので一気に土を入れて、今年の夏で修復する予定である。

芝生化事業としては、前年度行った

- ① 鳥取県体育協会「校庭芝生緑化支援事業」として、鳥取県内の保育園・小学校を4箇所の芝生維持管理・

技術指導をおこない、この3カ年で18箇所(22,716㎡)の協力をしている。

- ② 鳥取県協働連携推進課「平成22年度 保育園・幼稚園の芝生化推進事業」として、東部16箇所・中部3箇所・西部18箇所、計37箇所の芝生化支援事業及び芝生維持管理・技術指導をおこなった。また12月西部・1月東部と分かれて園庭芝生化実践者による意見交換会をおこなった。
- ③ 鳥取市都市整備部都市計画課「公園・広場芝生化実験：裸足で遊べる公園づくり」として、市内10箇所の街区公園にポット苗が市民ボランティアによって移植され、この3カ年で合計23箇所(17,000㎡)が芝生化された。
- ④ 日本サッカー協会「JFA グリーンプロジェクト」として、全国55箇所の保育園・幼稚園・小学校やグラウンドにポット苗75万株がプレゼントされ、当法人も技術指導等協力をした。
- ⑤ 上記の4事業に必要なポット苗の生産を指導するとともに、全国各地の公立市立の保育園、小学校、大学、クラブチーム等の芝生化計画に対してアドバイスし、鳥取方式が適用できる場合はそれぞれの状況に応じて、ポット苗・ロール芝・ビックロールによる芝生化を支援した。

### 3. EASEフットボールクラブ (総勢108名)

田中理事欠席のためスミス代表より以下の報告があった。

現在はジュニアは98名の会員数を持ち、年齢別4チームに分かれて活動している。大会にも活発に参加し安定した結果を出している。社会人はフットサルを2チームで活動している。

### 4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

福田理事より、以下の報告があった。

社会人の部は毎年恒例の交流試合を11月-高知のTEAMFUN、12月-横浜YC&AC、3月鳥取YBM・米子ラグーとおこなった。また12月にはKRFC杯を鳥取大とココ・コーラ・ウエスト・スポーツパーク陸上競技場で行った。

ジュニアに関しては、9月に「根性試し合宿」に参加。11月サントリーカップタグラグビー選手権大会に出場。1月15日初練習と恒例の餅つきをおこなった。3月ジュニアの指導にあっていた安達先生の送別会をグリーンハウスでおこなった。通勤族が多いので人数がなかなか定まらないが、これからも練習・試合と頑張っていきたい。

### 5. エレンシア湖山ホッケークラブ

スミス理事より以下の報告があった。

9月-鳥取県ホッケーフェスティバル、4月京丹波町ホッケーフェスティバルに参加した。この二つの大会とも6人制で、鳥取県ホッケーフェスティバルは予選敗退、京丹波町ホッケーフェスティバルは3位決定戦で敗れて4位に終わりました。その他倉吉西高校、桜ヶ丘中学校と練習試合や指導に合同練習等をおこなった。

### 6. 自治会との連携

池田理事より以下の報告があった。

自治会としてはグリーンフィールドの維持管理及びGSTの運営に対して深く理解しており、これからも支援・サポートしていく。

#### 壮年団との連携

昨年は7月23日に恒例の納涼祭を行った。納涼祭前にタグラグビーをおこない地区の子ども達と交流を深めた。

10月9日に湖山西公民館主催の子ども達との交流事業で「タグラグビー」をおこなった。

## 7. 決算報告

事務局太田より、平成 22 年度の決算報告があった。

22 年度はマイナス決算になったことについて、鳥取県協働連携推進課「平成 22 年度、保育園・幼稚園の芝生化推進事業」として、1 年間に 37 箇所をおこなったが 1 年間にこれだけ多くの芝生化をおこなったのは初めてだったので、当初の予算経費の立て方があまかった。来年度もこの事業は引き続きおこなわれるので、予算経費の見直しを計り、来年度はマイナスにならないようにするとスミス理事より補足説明があった。

## 8. 会計監査報告

法人監査である井上氏より「諸帳簿及び証拠書類を監査した結果、適切かつ正確に処理されていることを認める」との報告があった。

## 9. 質疑応答・承認

質疑ではないが、事務局太田より 8 月に鳥取ロータリークラブよりグリーンスポーツ鳥取の活動を評価して頂き表彰状及び賞金 30 万円を頂戴したと報告があった。以下質問及び異議もなく、21 年度の事業報告ならびに決算報告及び監査報告が、満場一致により承認された。

## 平成 22 年度事業計画

### 1. 22 年度の事業計画

当法人の目的である地域密着型スポーツクラブの育成の場及び地域住民の生活の「芝生の広場」の利用を通じての町づくり促進の為、グリーンフィールドを拠点とし維持管理すること。

また、グリーンフィールドで実施している「鳥取方式による芝生化」をモデルに鳥取県内保育園芝生化事業を含む鳥取市役所、日本サッカー協会、広い範囲を対象に保育園・学校・空き地での芝生の支援活動をさらに活発にして行くこと。

### 2. グリーンフィールドの整備及び校庭・空き地の芝生化支援活動

中野理事より以下の報告があった。

グリーンフィールドは芝生化した当初より、東側ラビーゴールポストの周りの土地が低くなっているため、今年は例年より多く土入れをおこなう。6 月後半に切り芝又はポット苗を移植するかどうか判断をする。肥料は全面標準並みに戻す。

芝生化事業としては

- ① 鳥取県体育協会「校庭芝生化緑化支援事業」として鳥取県内の小学校 3 箇所を行う予定。
- ② 鳥取市都市整備部「裸足で遊べる公園づくり」として 8 箇所行う予定。
- ③ 鳥取県協働連携推進課「保育園・幼稚園の芝生化推進事業」として、要望のある保育園・幼稚園を行う予定。
- ④ 日本サッカー協会が実施する「JFA グリーンプロジェクト」に対して 50 箇所前後の小中学校の校庭芝生化に対する支援・技術指導を行う予定。
- ⑤ その他県外の保育園・学校・公園などの芝生化依頼も契約を結びおこなっていく。

### 3. E A S E フットボールクラブ

サッカーの試合、イベントには積極的に参加して行きたい。クラブ員の親睦、他のクラブとの親睦に関する行事の取り組みにも積極的に参加し楽しみながらサッカーをやって行きたい。

### 4. 湖山ラグビーフットボールクラブ

練習開始は 9 月、ジュニア午後 1 時 30 分より、社会人午後 3 時より始める。練習試合を多く組みなが

ら活動していきたい。またジュニア育成にも力を入れていきたい。

#### 5. エレンシア湖山ホッケークラブ

来シーズンの活動予定は、9月鳥取県ホッケーフェスティバル、10月篠山カップ、4月の京丹波町ホッケーフェスティバル、予算に余裕があれば3月西日本ホッケーフェスティバルにも参加したいと思っている。

#### 6. 自治会との連携

今まで通りの支援・サポートを継続して行う。11月に「青空市・フリーマーケット」をおこなう予定。

#### 壮年団との連携

壮年団では毎年おこなっている壮年団主催・地元住民にも呼びかけて、グリーンフィールドの側溝掃除をおこなう予定。今年は7月23日に恒例の納涼祭を行います。また恒例の納涼祭前にタグラグビーを行い地区の子ども達と交流を深めたい。10月にも湖山西公民館主催、地区の子どもたちとの交流事業で「タグラグビー」を計画している。

#### 7. その他

東北の被災地の避難場所近くの空き地を芝生化したいと話があったが、小学校が避難場所になっているので実行は難しい。周辺に対しても原発のホコリ押さえになるので相談は受けるが、具体的には今の状況では難しい。

#### 8. 23年度の予算案

決算同様に平成23年度の予算案が非営利活動・収益事業別に提出された。23年度は平年並みの収支になる予定。

#### 9. 質疑応答・承認

予算・事業案に対する質問がなかった為、23年度予算案が、満場一致により承認された。

#### 10. 議事録署名人

議長は、出席している会員の中から議事録署名人を指名したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致で、次の者を議事録署名人に指名した。

会員	ニール スミス
会員	中野 淳一

以上で本日の議事を終了し、議長は午後3時20分に閉会を宣した。

#### 1. 議長解任

決議事項等が終了した為、議長が解任された。

#### 1. 閉会の挨拶

スミス理事長より商標登録を取得し、全国的に鳥取方式による芝生化に対する正しい認識や知識が定着できる目処はついた。県内の自治体、行政とも連携していきたいと思っているが、鳥取市教育委員会では鳥取方式を導入しないと言っているため、保育園の芝生化は進むが、小学校の芝生化が進まない。この事について、市議会議員に交渉するとか、何かしていかないといけないと思っている。

サッカー協会のほうでは、人材育成にも力を入れている。造園業者等に鳥取方式での芝生化の仕方について我々も協力をしている。という旨の話があり、総会を閉会した。

平成23年5月29日

特定非営利活動法人グリーンスポーツ鳥取年次総会において

議 長                    谷   尾                    洋   介                    印

会 員                    ニ   ー   ル   ス   ミ   ス                    印

会 員                    中   野                    淳   一                    印